

2021年 7月 5日 作成
Ver1.0

車両運行管理

目次

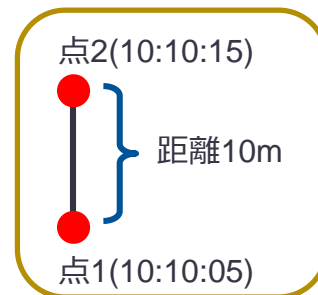
- 1.はじめにお読みください
- 2.車両運行管理の行い方
- 3.参考機能

※衛星写真はそれ自身が誤差を含み、地図と諸データの位置関係がずれることがあります

1.はじめにお読みください

- 車両運行管理ではAutoSync機能によって、現在のGFXディスプレイの位置を定期的に変送することで運行状況を確認できます。
 - 定期的な確認には常時のWi-Fi接続が必要
- 表示される速度は実際の速度と異なる可能性があります
 - 速度は以下図参照のこと、位置情報をもとに計算しています
 - 自動的にプロット(点)を打つため、任意の箇所や頻度を設定することはできません

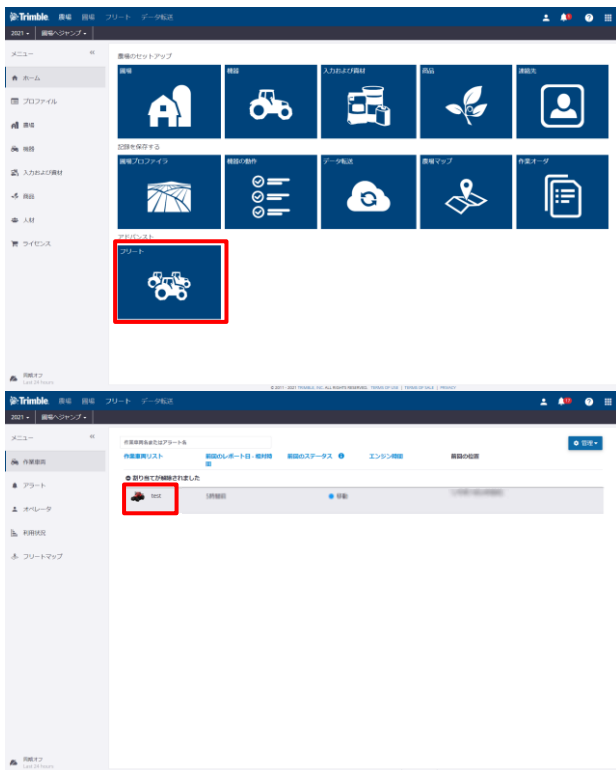
図



距離:10m
時間:10秒
速度:1m/秒=3.6km/h

※数値はイメージとなります

2.車両運行管理の行い方



- アイコン「フリート」をクリックする
-
- 名称(例ではtest)の位置をクリックする

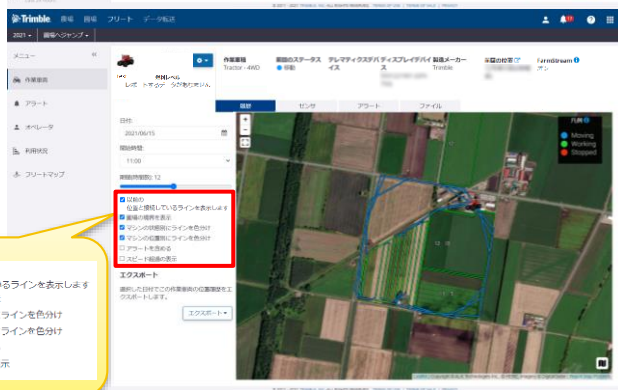
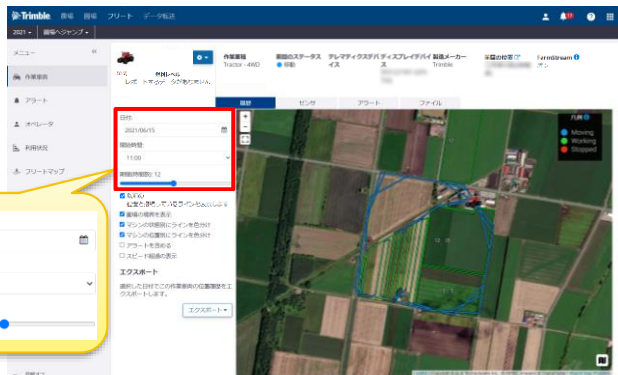
2.車両運行管理の行い方

- 選択した車両の運行履歴が表示される

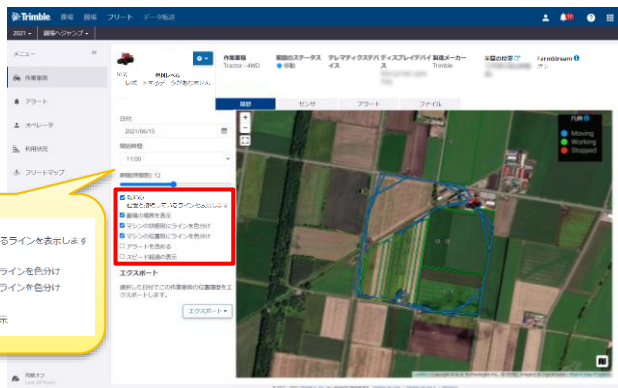
- 日付・開始時間・期間(時間数)を選択して確認したい時間の運行を管理できる

- 見やすい設定は以下4項目にチェックをつける

- 以前の位置と接続しているラインを表示します
 - 圃場の境界線を表示
 - マシンの状態別にラインを色分け
 - マシンの位置別にラインを色分け

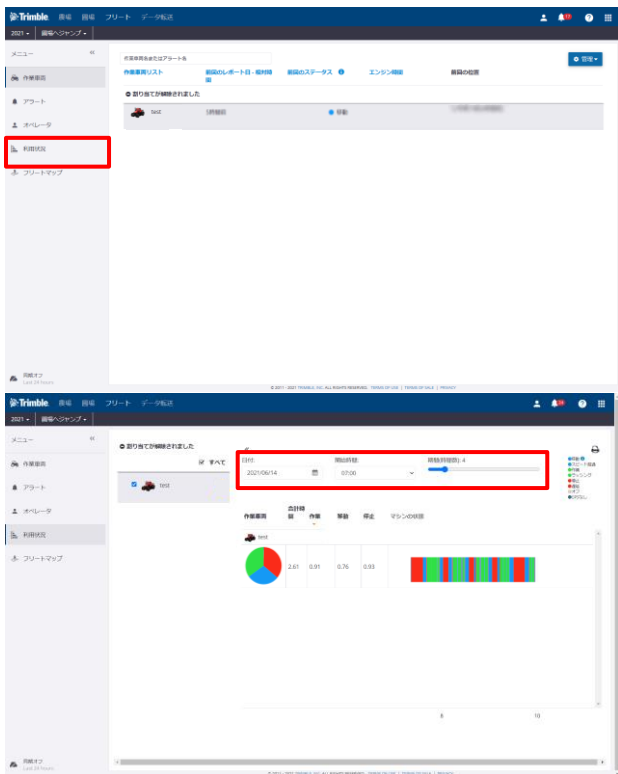


2. 車両運行管理の行い方



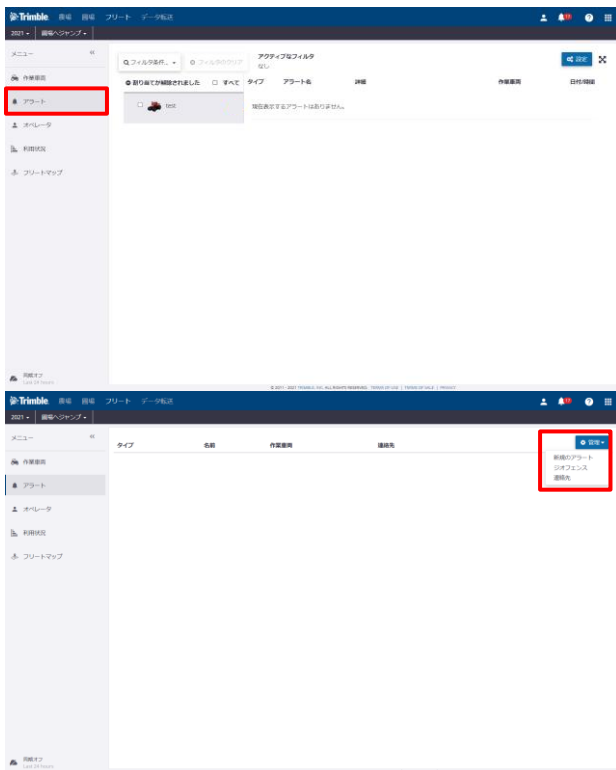
- 項目について以下を参照
 - 以前の位置と接続しているラインを表示します
 - 点と点を線でつなぎます
 - 圃場の境界線を表示
 - マシンの状態別にラインを色分け
 - 線の色を変えます
 - マシンの位置別にラインを色分け
 - 点の色付けします
 - アラートを含める
 - アラートについては3.参考機能を参照
 - スピード超過の表示
 - 指定した速度以上の走行を色を変えて表示します

2.車両運行管理の行い方



- 利用状況をクリックする
-
- 車両を選択し以下の設定をすることで車両の使用状況が確認できる
 - 日付
 - 開始時間
 - 期間(時間数)...開始時間からの経過時間

3.参考機能

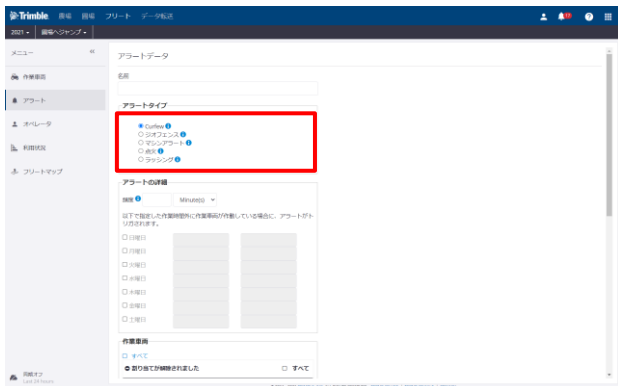


- アラートをクリックする

-
- 管理をクリックし、新規のアラートを
クリックする

本ページは日本国内ではサポート対象外の機能となります。
記載内容は事前の告知なく使用できなくなることがあります。

3.参考機能



- アラートの種類を選択し、設定をした後に保存をする
 - Curfew
 - 指定時間外で位置情報を取得した場合
 - ジオフェンス
 - 指定領域外で位置情報を取得した場合
 - マシンアラート
 - 機械が故障コードを表示した場合
 - 点火
 - イグニッションのオンオフがあった場合(GFXディスプレイがイグニッションと接続された場合のみ)
 - ラッシング
 - 指定速度以上で位置情報を取得した場合

本ページは日本国内ではサポート対象外の機能となります。
記載内容は事前の告知なく使用できなくなることがあります。